

悪性疾患、自己免疫疾患、感染症等を対象とした、血液体外診断用医療機器、ならびにそれを用いた体外診断薬の開発

研究の背景：

血液中の白血球を調べることは感染症の有無などの全身状態を把握することに重要です。さらに細かく白血球を調べることにより、がん診療に活かせる情報を得られる可能性が様々な基礎研究からわかってきました。

本研究では東京大学大学院工学系研究科と共同開発中の血液分離装置を用いて、白血球をより細かく調べることのがん医療応用への可能性について調べます。また同時に、本研究で使用する血液体外診断用医療機器の開発を進め、それを用いた体外診断薬の開発を進めます。本研究は聖路加国際病院との共同研究として実施されます。

研究の目的：

本研究では、開発中の血液分離装置を用いて白血球をより細かく調べることのがん医療応用への可能性について調べます。また同時に、本研究で使用する血液体外診断用医療機器の開発を進め、それを用いた体外診断薬の開発を進めます。

研究対象：

国立がん研究センター中央病院に肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆道がん、膵臓がん、乳がん、脳腫瘍、卵巣がん、子宮がん、腎細胞がん、前立腺がん、造血器腫瘍等で受診している20歳以上の患者さんで、2017年12月31日までに血液検査をされた患者さんの中で解析時に包括的同意が得られている患者さんを対象にします(各がん種50名)。診療に用いた後の血液検体や診療録などの診療情報を用います。

方法：

診療に用いた後の血液検体や診療録などの診療情報を用いて、開発中の血液分離装置を用いて解析・検討します。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を取り扱います。対象となる患者さんの識別は本研究専用別に割り振られた研究用番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の残り検体・診療情報は研究に利用しないようにいたしますので、いつでも下記の連絡先までご連絡下さい。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科 平岡伸介（研究責任者）

TEL 03-3542-2511/ FAX 03-5565-7029